

SPIRAL

Annual Report

2016

Exhibition

Lecture & Workshop

Dance / Performing Arts

Produce

Shops

Music



SPIRAL

Annual Report 2016

スパイラル活動報告2016

INDEX

展覧会 — Exhibition

- 2 ● SICF17 第17回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル
- 4 ● SICF PLAY 2016 Come Play with SICF Artists !
- 6 ● EAT ! Enjoy Art & Table
- 8 ● ダダ100周年フェスティバル + SPIRAL
GALLERY VOLTAIRE ギャラリー ヴォルテール
- 10 ● 小金沢健人展「煙のゆくえ」
- 12 ● SICF17グランプリアーティスト展 江頭誠『Rose Blanket Collection'16』
- 14 ● PAPER GARDEN atelier oï and SPREAD
- 15 ● 蓮沼執太「作曲的 | compositions : rhythm」
- 16 ● NSK100周年記念展覧会 SENSE OF MOTION あたらしい動きの展覧会
- 18 ● NSK Future Forum
- 19 ● 奥出雲 玉鋼デザイン発表会 奥出雲と鉄 たたらと刀 刀匠とアーティスト10 人の共創
- 20 ● the art fair +plus-ultra 2016 ジ・アートフェア +ブリュスーウルトラ 2016
- 22 ● GROOVISIONS 5×27

レクチャー & ワークショップ — Lecture & Workshop

- 24 ● images of Beauty —さまざまな美しさのかたち—
- 25 ● スパイラルとワコールの共同企画 Spiral Schole

ダンス / パフォーミングアーツ — Dance / Performing Arts

- 26 ● スパイラル芸能の宴2016『花方』～第二章「若松の宴」
- 28 ● SAL -Dance and Music Installation-
By Ella Rothschild and Mirai Moriyama
- 30 ● Dance New Air 2016 ダンスの明日

プロデュース — Produce

- 32 ● TOKYO ART FLOW 00
- 34 ● Gallery AaMo 開業パートナーシップ
- 35 ● 太田市美術館・図書館
- 36 ● 東京2020公認文化オリンピック
SLOW MOVEMENT Next Stage ショーケース&フォーラム
- 38 ● スマートイルミネーション横浜2016
- 39 ● 森のサーカス

店舗 — Shops

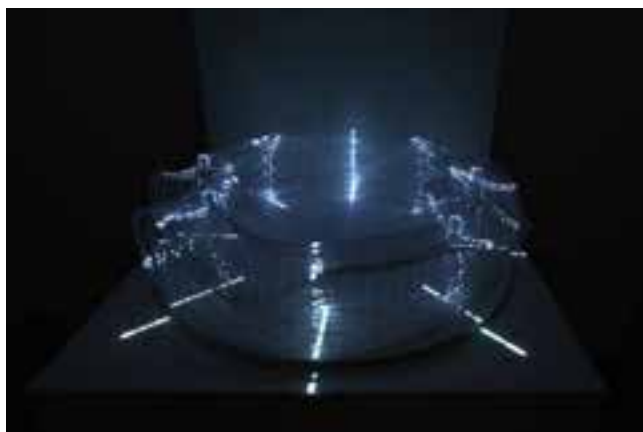
- 40 ● MINA-TO
- 42 ● call 新店舗オープン
- 43 ● 櫻井焙茶研究所 新店舗オープン

音楽 — Music

- 44 ● Joana Queiroz, Rafael Martini, Bernardo Ramos
GESTO
- 45 ● 林 正樹
Lull



SICF17 第17回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル



「SICF」(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)は、次代を担うクリエイターの発掘・育成・支援を目的とし、スパイラルが2000年から開催しているアートフェスティバルです。

公募によって選出された、気鋭の若手クリエイター 100組が一堂に会し、絵画、立体・インスタレーション、メディアアート、写真、ファッション、アクセサリやそれらの垣根を越えた既存のジャンルに捉われない作品を展開します。本年は絵画や写真などに加え、プロジェクターを用いたプロジェクションマッピングや3Dプリンタ出力による作品など、以前は個人レベルでは難しかった技術を取り入れた作品が目を見ました。

SICF17から新たな試みとして、学生の来場を促すための学生入場無料化や、クリエイターをめざす学生へ向けたトークイベントを開催。受賞者のSICFへ出展した経緯やその後の人との出会い、アーティストとしての自身のプロデュース方法など、多岐に渡るトークが展開されました。

SICF17: Spiral Independent Creators Festival #17

Spiral Independent Creators Festival (SICF) is an art festival that launched in 2000 to discover, foster and support emerging artists and designers. In addition to painting and photography, prominent exhibits this year included artworks created with projection mapping and 3D printers, incorporating technology that was previously difficult at the individual level. From SICF17 new efforts were made to encourage students to attend the event, such as making admission free for students as well as holding talks aimed at students aspiring to be artists and designers. The talks explored how the SICF prizewinners' came to exhibit at the festival and the encounters it led to as well as how they produce their work.

Period 1: May 1st – May 2nd, 2016

Period 2: May 3rd – May 4th, 2016

Venue: Spiral Hall

開催概要

会期：A日程 2016年5月1日(日)～2日(月)

B日程 2016年5月3日(火・祝)～4日(水・祝)

*両日程ともに50組2日間ずつ

会場：スパイラルホール

審査員(敬称略)

岡本美津子(東京藝術大学大学院映像研究科教授、NHK Eテレ「2355・0655」プロデューサー)

金森 香(株式会社シアタープロダクツ取締役 コミュニケーションディレクター、NP0法人 ドリフターズ・インターナショナル理事)

木村絵理子(横浜美術館 主任学芸員)

栗栖良依(SLOW LABEL ディレクター)

張 熾(Halcyon Gallery 翡翠中国 CEO チーフディレクター)

岡田 勉(スパイラル シニアキュレーター)

主催：株式会社ワコールアートセンター

協力：CLIP、株式会社ステージフォー、東京リスマチック株式会社

企画制作：スパイラル

グラフィックデザイン：FORM::PROCESS

写真：市川勝弘



〈SICF16〉受賞者

グランプリ	江頭 誠	(A-14)
準グランプリ	後藤映則	(B-1)
準グランプリ	高木あすか	(B-13)
岡本美津子賞	FUKUPOLY	(A-45)
金森香賞	江藤友理子	(A-9)
木村絵理子賞	橋本美和子	(A-36)
栗栖良依賞	MIWAKAKUTA	(A-18)
張熾賞	植松京子	(A-47)
スパイラル奨励賞	山内沙也果	(A-38)
オーディエンス賞	後藤映則	(B-1)



SICF PLAY 2016 Come Play with SICF Artists !



SICF17の連動企画として開催。「PLAY(=遊び/演技)」を切り口に、参加型インスタレーションや影絵、メディアアート、詩吟など、過去のSICF受賞者による多彩な表現を紹介しました。

会期中は参加アーティストと共に作品を創り上げるワークショップを開催。スパイラルガーデンを訪れた方々が「プレイヤー」として、アートと遊び、演じ、楽しめる企画となりました。

● 参加アーティスト

大石 麻央 (SICF11 準グランプリ)
 乙津理風 (SICF5 準グランプリ)
 大西景太 (SICF12 スパイラル奨励賞)
 加藤 立 (SICF12 南條史生賞)
 塩見友梨奈 (SICF14 グランプリ)
 長谷川依与 (SICF15 浅井隆賞)
 Rico (SICF9 ひびのこづえ賞)
 渡邊千夏 (SICF12 佐藤尊彦賞)
 (五十音順)

SICF Play 2016

This event was organized as a satellite program for SICF17, bringing together various past SICF prizewinners to present interactive installations, shadow pictures, media art, chanting and more on the theme of play. During the event, participating artists also held workshops where members of the public could create works of art with them. Visitors to Spiral Garden transformed into "players" as they enjoyed the unadulterated fun side to art.

Dates: April 29th – May 8th, 2016

Venues: Spiral Garden, Spiral Cafe, Entrance



開催概要

会期：2016年4月29日(金・祝)～5月8日(日)
 会場：スパイラルガーデン、スパイラルカフェ、エントランス(スパイラル1F)
 主催：株式会社ワコールアートセンター
 企画制作：スパイラル
 グラフィックデザイン：ido
 写真：市川勝弘



EAT ! Enjoy Art & Table



2



3



4



5



6



「食」は、いつも私たちが笑顔にし、大切な人々との時間を彩ります。

本展では、過去SICF参加者を含む6組の作家が、多彩な視点から「食」を捉えたユニークな作品を展示するほか、作家によるワークショップ、食にまつわる書籍やプロダクトを販売、スパイラルカフェでは展覧会連動のスペシャルメニューを提供しました。

「食」から生まれる、新たなコミュニケーションを楽しめる展覧会となりました。

● 参加アーティスト

- ③ 小笠原圭吾 (アーティスト / SICF15 スパイラル奨励賞)
- ⑥ osage (おさげ) (アートユニット / SICF14 オーディエンス賞)
- 永方佑樹 (ナガエ・ユウキ) (詩人)
- ④ 栗田有佳 (アーティスト / SICF14 スパイラル奨励賞)
- ①② 境 貴雄 (現代美術家 / アズラー ディレクター)
- ⑤ モコメシ (小沢朋子) (フードデザイナー)

EAT!: Enjoy Art & Table

Food is something that always brings happiness to our lives and enhances the time we spend with our loved ones. This exhibition featured six artists from previous SICF events, who presented unique works of art offering fresh perspectives on food. There were also workshops, food-related publications and products, and a special menu available in the Spiral Café. The event created new and enjoyable forms of communication through food.

Dates: July 20th – August 2nd, 2016

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2016年7月20日(水)～8月2日(火)

会場：スパイラルガーデン(スパイラル1F)

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル



ダダ100周年フェスティバル + SPIRAL GALLERY VOLTAIRE ギャラリー ヴォルテール



2



3



4



5



6

1916年にスイス・チューリヒの「キャバレー・ヴォルテール (CABARET VOLTAIRE)」にて、それまでのアートを否定する芸術活動として産声を上げたダダ。スパイラルでは、ダダの誕生から100周年を迎えることを記念して「ギャラリー・ヴォルテール (GALLERY VOLTAIRE)」を実施、ダダの精神を現代的に解釈し表現する3組のアーティストを紹介し、ダダポップアップショップを展開しました。

●プログラム

展示企画「ダダでない ダダでなくない」 会期：8月4日～8月14日

①④ パフォーマンス「スペクトラム・ダダ・ナイト」 会期：8月6日

アーティスト：TOLTA

③ パフォーマンス「Emotion in Motion」 会期：8月7日

アーティスト：Stillllive with Nigel Rolfe

⑤ パフォーマンス「一分間の事象／東京都港区南青山5-6-23 スパイラルのエントランス／2016.8.18-8.28」

会期：8月18日(木)～28日(日)11:00～20:00

アーティスト：関川航平

②⑥ DADAポップアップショップ 会期：8月4日～28日

アーティスト：江口寿史、groovisions、so+ba、中村哲也、micca、Sokkuan Tye、竹井千佳、葉山有樹、田淵正敏+WALTZ、大崎奏矢、ショウジョノトモ

DADA100 + SPIRAL: GALLERY VOLTAIRE

2016 marks a century since the Dada movement first burst onto the European art world. Since then, society and ideas have changed unrecognizably due to rapid globalization and technology. And yet, we can see trends in contemporary art that recall the pioneering work of the Dadaists.

Inspired by the name of the cabaret where the movement originally started, "Gallery Voltaire" is a series of exhibitions and performances as well as a pop-up store that reconsiders the 100-year-old experiments of Dada, which continue to resonate today.

Dates: August 4th – August 28th(Spiral closed from August 15th to 17th)

Venue: Spiral Entrance, MINA-TO, Spiral Café, Spiral Hall

開催概要

会期：2016年8月4日(木)～8月28日(日)(※8月15日～17日スパイラル全館休館)

会場：スパイラル(スパイラルエントランス、MINA-TO、スパイラルカフェ、スパイラルホール)

主催：株式会社ワコールアートセンター

後援：スイス大使館

企画制作：スパイラル

写真：池田美都



小金沢健人展「煙のゆくえ」



武蔵野美術大学映像学科卒業後ドイツに渡り、以来ベルリンを拠点に世界各地で活動を行なう小金沢健人の個展を開催しました。

動物が獲物を捉えるがごとく、日頃見過ごしてしまう些細な出来事や風景の一瞬の動きや変化を直感的に捉え、映像やドローイング、インスタレーション、パフォーマンスなど多彩な手法で表現する小金沢。独特のリズムと豊かな色彩を持ち、見る人の意表をつくような作品群は、私たちの固定概念を揺さぶり、新たな気づきを与えてくれます。

本展では、ドイツで発表した粘土のオブジェが回転する作品の規模を拡大させ、よりダイナミックな空間インスタレーションを展開するとともに、大量の山を描いたドローイングを壁面に出現させました。

会期中は、MINA-TO（スパイラル1F）にて作品の展示販売を行なったほか、トークイベントも開催しました。

Takehito Koganezawa “Future of Smoke”

Spiral presents “Future of Smoke”, a new solo exhibition by Takehito Koganezawa at Spiral Garden (Spiral 1F) from September 13th to September 25th, 2016. Based in Berlin, Germany, since graduating from the Department of Imaging Arts and Sciences at Musashino Art University, Koganezawa is an internationally established artist. He works with video, drawing, installation, and performance, intuitively capturing the momentary changes of landscapes and minute incidents in the everyday, like an animal catching its prey. With its unique rhythms and rich colors, Koganezawa's work surprises the viewer and breaks down stereotypes to offer us fresh realizations. This exhibition expands the scale of spinning clay sculptures previously exhibited by the artist in Germany, creating an even more dynamic installation as well as filling an entire wall with drawings of vast numbers of mountains.

Dates : September 13th – 25th, 2016

Venue : Spiral Garden

開催概要

会期：2016年9月13日（火）～9月25日（日）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

企画協力・アートディレクション：菊地敦己

写真：加藤純平



SICF17グランプリアーティスト展 江頭誠『Rose Blanket Collection'16』



人々の共有する記憶を呼び起こす、花柄の毛布の作品

2016年5月に開催したアートフェスティバル「SICF17」に於いて出展クリエイター100組の中からグランプリに輝いた、江頭誠による個展を開催しました。

高度経済成長期、日本の一般家庭に広く普及したロココ調の花柄の毛布を用いた立体作品を制作する江頭は、SICF17で洋式トイレの個室を再現し、人々が共有している典型的な日本の家庭風景の記憶を蘇らせ、日本が戦後長らく抱いてきた西洋文化へのコンプレックスや憧れなどを巧みに表現しました。アイデアと表現手法の合致、ユーモア溢れる作品そのものが高く評価され、グランプリを受賞しました。

本展では、約10畳のガラス張りのショウケースを洋間に見立て、神棚やクリスマスツリー、和ダンス、シャンデリアなど天井から床に至るまで、すべてのものをバラ模様の毛布で包んだ空間を出現させました。

SICF17 Grand Prize Artist Exhibition Makoto Egashira "Rose Blanket Collection '16"

This solo exhibition features the work of artist Makoto Egashira, who was selected for the Grand Prize out of 100 exhibitors at Spiral Independent Creators Festival 17 (SICF17) held this past May. Egashira makes sculptural artworks using blankets with floral patterns in the rococo style that became popular in Japanese households during the postwar period of high economic growth.

Dates : November 16th - 20th, 2016

Venue : Showcase

開催概要

会期 : 2016年11月16日(水) ~ 20日(日)

会場 : ショウケース (スパイラル1F)

主催 : 株式会社フコールアートセンター

企画制作 : スパイラル

写真 : 川瀬一絵



PAPER GARDEN atelier oi and SPREAD

日本古来の紙として、長い伝統を継承するとともに生活に寄り添い独自の技術発展をしてきた和紙。

スイスのデザインスタジオatelier oi（アトリエ オイ）と日本のクリエイティブユニットSPREAD（スプレッド）が、伝統とテクノロジー、異なる性質の和紙を用いてスパイラルの空間を彩る展覧会を開催しました。

「光」をコンセプトに、1300年にわたり受け継がれる匠の技、ユネスコ無形文化遺産の本美濃紙を用いたシノグラフィー作品「Honminoshi Garden」と、和紙テープをはじめとした複数のテープを用い、「色を貼る」という発想で空間を彩る「HAKU stuck-on design;」をアトリウムとギャラリー壁面を使い展示しました。

Paper Garden atelier oi and SPREAD

Japanese paper, washi, has a long history and tradition whereby it has developed and evolved while remaining an intimate part of people's lives. The Swiss design studio atelier oi partnered with the Japanese creative unit SPREAD for this exhibition that vibrantly transformed the atrium and gallery spaces inside Spiral with varying kinds of washi. Themed around the concept of light, the installation featured Honminoshi Garden, a scenography exhibit that employed the titular paper with a 1,300-year tradition and UNESCO Intangible Cultural Heritage status, and Haru stuck-on design, which used vivid colors that can be stuck onto things.

Dates: September 1st – 11th, 2016

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2016年9月1日（木）～11日（木）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）

主催：atelier oi、SPREAD、岐阜県、株式会社ニトムズ

後援：スイス大使館

会場協力：株式会社ワコールアートセンター



蓮沼執太「作曲的 | compositions : rhythm」

音楽家として作曲という手法を様々なメディアに応用し、映像・サウンド・立体・インスタレーションなど幅広い表現で作品を発表し続ける蓮沼執太による新作展覧会をスパイラルガーデンにて開催しました。

西洋音楽の世界での音楽三要素「メロディ／ハーモニー／リズム」の中から「リズム＝律動」をテーマに掲げ、「リズム」という考え方を時間軸を超えた拡張によって、美術作品として提示します。

会期中、Dance New Air 2016 提携プログラムとして蓮沼執太とダンサー 4 名による、ダンスパフォーマンスを開催。10 月 2 日には蓮沼執太による展覧会の作品を用いたミニパフォーマンス／アーティストトークを開催しました。

Meeting Place

Shuta Hasunuma Philharmonic Orchestra

Spiral Garden hosted an exhibition of new work by the composer and musician Shuta Hasunuma, who works with a wide range of media and techniques as well as video, sound, sculpture and installation. From the three key elements of Western music—melody, harmony and rhythm—Hasunuma presented visual art on the theme of rhythm that expressed spatial and temporal movement. During the exhibition, Hasunuma performed with four dancers as part of the satellite program for Dance New Air 2016. On October 2nd, Hasunuma also held a mini performance and talk using the exhibits.

Dates: September 27th – October 5th, 2016

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2016 年 9 月 27 日（火）～ 2016 年 10 月 5 日（水）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

主催：蓮沼執太展実行委員会

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
公益財団法人 野村財団

協力：NO ARCHITECTS、paper tunes、F00、SOB0、ソニー株式会社
技術協力：Arque Inc.

会場協力：株式会社ワコールアートセンター

写真：Kei Okano



NSK100周年記念展覧会 SENSE OF MOTION あたらしい動きの展覧会



2



3



4



5



6

「動き」をスムーズにするベアリングを中心に製造してきたグローバル企業、日本精工株式会社（NSK）による創立100周年を記念した展覧会「SENSE OF MOTION」を開催、スパイラルはプロデュースを手がけました。

「SENSE OF MOTION」では、6組の参加クリエイターとNSKが、あたらしい感覚を呼び覚ます「あたらしい動き」をテーマにした作品を展示。また、国内外の未来をつくる人のための「NSK Future Forum」、国内各拠点で社員とクリエイターが協働して展開する「Satellite Program」も開催しました。

NSKが掲げるNSKビジョン2026「あたらしい動きをつくる。（SETTING THE FUTURE IN MOTION）」にふさわしい、あらたな取り組みとなりました。

● 参加クリエイター

- ④ 石黒 猛
- ③ AR三兄弟
- ① エマニュエル・ムホー
- ④ スズキユウリ+SLOW LABEL
- ⑤ Ndegata Instant Party（中崎透+山城大督+野田智子）
- ② Rhizomatiks Research（五十音順）

NSK 100th Anniversary Exhibition Sense of Motion

Spiral produced an exhibition to commemorate the 100th anniversary of NSK, a global leader in the manufacture of the bearings that facilitate our smooth motion. The exhibition featured six artists and groups who partnered with NSK to create artworks on the theme of new kinds of movement. From interactive exhibits that could be moved by visitors to media art, the event was packed with vibrant and diverse ideas that formed a fitting expression of the NSK corporate vision for 2026: Setting the Future in Motion.

Dates: November 9th – 20th, 2016

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2016年11月9日（水）～20日（日）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）

主催：日本精工株式会社

プロデューサー：紫牟田伸子

会場構成：エマニュエル・ムホー

アートディレクション：菊地敦己

企画制作：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

写真：加藤純平



NSK Future Forum

「NSK Future Forum」は、あらたな発想で未来の社会を革新していく人々を応援し、育み、ネットワークするプラットフォームとして、「SENSE OF MOTION」をテーマに、さまざまな分野であらたな領域を開拓し、未来をドライブさせている人々との対話を通じて、これからの社会と未来のあり方を考えました。

● 出演者

総合司会：中谷日出（映像アートディレクター、NHK解説委員）

第一部

あたらしい生き方・考え方、社会のあたらしい価値観を考え、討議します。

- ・ 為末 大（スポーツコメンテーター、株式会社侍 代表取締役）
- ・ 川田十夢（AR三兄弟）
- ・ 座二郎（サラリーマン漫画家）
- ・ 山中俊治（デザインエンジニア、東京大学大学院教授）
- ・ 栗栖 良依（アートディレクター）
- ・ 林 千晶（ロフトワークの共同創業者 代表取締役）

第二部

あたらしい技術開発やものづくりの方法が生み出す、未来の可能性について討議します。

- ・ Tim Geurtjens（MX3D 最高技術責任者）
- ・ 真鍋大度（メディアアーティスト、株式会社 Rhizomatiks 取締役）
- ・ 高橋智隆（ロボットクリエイター、株式会社ロボ・ガレッジ 代表取締役社長）
- ・ 若林 恵（WIRED 日本版 編集長）
- ・ スブツニ子！（現代美術家、デザイン・フィクション研究室主宰）
- ・ 猪子寿之（ウルトラテクノロジスト集団チームラボ代表）

NSK Future Forum

NSK Future Forum is a platform for supporting, cultivating, and building a network of people who can revolutionize society with new future visions. This forum, "SENSE OF MOTION," opened up new territories in a range of fields with discussion about the society to come through dialogue between pioneers of the future.

Part 1 : Life Examining and discussing new ways of living and thinking, and new social values.

Part 2 : Make Debating future possibilities created by new technology and manufacturing methods.

開催概要

会場：スパイラルホール（スパイラル3F）

主催：日本精工株式会社

プロデューサー：紫牟田伸子

会場構成：エマニュエル・ムホー

アートディレクション：菊地敦己

企画制作：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター



奥出雲 玉鋼デザイン発表会 奥出雲と鉄 たたらと刀 刀匠とアーティスト10人の共創

日本古来の製鉄法「たたら」でのみ得ることができる、至極の鋼「玉鋼（たまはがね）」。

日本の美と精神の象徴である「日本刀」は、この玉鋼でしか作り出すことができません。

島根県奥出雲町では、世界で唯一、古来の技法でたたら製鉄が続けられています。

本展では、この貴重な玉鋼を用い、日本を代表する刀匠（とうしょう）の技と、SICF出展者を中心とした10名のアーティストの感性により、日本刀の美と精神を未来に伝える、5つの刃物と5つの鐔（つば）を制作、展示しました。

刀匠の技術とアーティストの感性により、「玉鋼」の可能性世界に向け発信するとともに、たたら製鉄の中に見出すことのできる“文化と伝統”、そして“技と美”に裏打ちされた“ものづくり”を伝える機会となりました。

Swordsmiths Meet Artists

Tamahagane, which is forged in a traditional furnace called a tatara, is the superior steel used to make Japanese swords and blades. Regarded as a symbol of Japanese aesthetic and spirit, the Japanese sword (nihonto) can only be created with tamahagane steel and the last place in the world still continuing to use the tatara technique is in Okuizumo, Shimane Prefecture. This exhibition brought together the ancient material of tamahagane, the leading sword-making craft of tosho, and 10 artists, including SICF exhibitors, to make five new blades and hilt guards that convey a future vision of the beauty and spirit of the Japanese sword. Along with sharing new possibilities for tamahagane arising from the unique partnership of sword-making craftsmanship and contemporary artistic sensibilities, the exhibition was also an opportunity to learn about the culture and tradition of the tatara furnace, and the monozuri creativity that is rooted in technique and beauty.

Dates: February 19th - 24th, 2017

Venue: Showcase

●参加クリエイター

安達加奈江（陶芸家）
石野平四郎（美術家）
大村 卓（プロダクトデザイナー）
鈴木 僚（プロダクトデザイナー）
関川耕嗣（アーティスト）
風当将文（プロダクトデザイナー）
FUKUPOLY（映像デザイナー）
YASUKA.M（アーティスト）
楊子 卓（武蔵野美術大学4年）
吉野哲平（俳優）

開催概要

会場：ショウケース（スパイラル1F）
会期：2017年2月19日（日）～2月24日（金）
主催：奥出雲町 奥出雲たたらブランド推進会議
プロデュース：株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所
企画制作：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター
写真：荒木文雄



the art fair +plus-ultra 2016 ジ・アートフェア +プリュスーウルトラ 2016



the art fair +plus-ultra(ジ・アートフェア +プリュス・ウルトラ)は、信頼と実績を誇るギャラリーが、優れた作品を紹介するカテゴリ+plusと40歳以下のディレクター個人を出展単位とする、世界でも類を見ないカテゴリultraの2つの異なる部門からなる統合型のアートフェアとして、毎年、国内外から多くの来場者を迎える話題のイベントに発展してきました。

2016年は12月17日(土)～20日(火)と22日(木)～25日(日)の2会期にわたり、国内外から合計40のギャラリー及びディレクターがプレゼンテーションを展開。

来場者の投票により最も優れたプレゼンテーションを行なったディレクターに与えられるベスト・ウォール賞や販売合計額が最も高いディレクターまたはギャラリーに贈られるベスト・セールス賞の2種類のプライズが用意されており、現在のアートシーンの流れを照らしだします。

The Art Fair +Plus-Ultra 2016

This annual, fully comprehensive art fair popular with visitors from around the world comprises two sections: "+Plus," showcasing superb work by artists from established galleries, and "Ultra," which presents single booth exhibits curated by gallery directors aged 40 or younger. The 2016 fair took place in December, divided into two periods and featuring a total of 40 galleries and directors from Japan and overseas.

Period 1: December 17th – 20th, 2016

Period 2: December 22nd – 25th, 2016

Venue: Spiral Garden



ベストセールス賞
ターム2 網川大ノルンバルンバ(石川)

ベストウォール賞
ターム2 高宮洋子ノヒデハルフカサワギャラリー六本木(東京)

開催概要

会期：ターム1：2016年12月17日(土)～20日(火)

ターム2：2016年12月22日(木)～25日(日)

会場：スパイラルガーデン(スパイラル1F)

主催：ジ・アートフェア+プリュス・ウルトラ実行委員会

写真：市川勝弘



GROOVISIONS 5×27



グラフィックデザインやモーショングラフィックス制作を中心に、音楽、出版、プロダクト、インテリア、ファッションなど多様な領域を越えて活動し、常に時代を牽引し続けてきたグルーヴィジョンズが東京に拠点を移し20年を迎えたことを記念して開催、四半世紀に及ぶ活動の中で、グルーヴィジョンズならではの表現を中心としたアートワークのアーカイブを展示しました。

展覧会タイトル「GROOVISIONS 5×27」に表わされる、縦横比5：27の全長約13mにもなる大型ディスプレイで新作映像を発表しました。また、アトリウムには、彼らの代表作であるchappie（チャッピー）が登場するインスタレーションを展示したほか、グルーヴィジョンズが運営するセレクトショップ「三三屋」の期間限定ショップ「三三屋 東京支店」が出店しました。

グルーヴィジョンズが培ってきたクリエイティブの歴史を振り返るとともに、新たなクリエイションの展開を感じる展覧会となりました。

groovisions 5x27

The exhibition showcased the work of groovisions, marking 20 years since the design studio relocated to Tokyo and introducing its wide-ranging output of graphic design and motion graphics that has made a significant impact on music, publishing, product design, interior design, and fashion. Visitors enjoyed displays of the studio's past quarter-century of artworks, particularly representative examples of the inimitable groovisions style, including certain works available to buy. The exhibition title was shared with the title of a new video work, shown on a giant screen with a 5:27 aspect ratio and length of 13 meters. The atrium of Spiral Garden also featured an installation of chappie, one of groovisions' most enduring creations. In addition, a pop-up Tokyo version of MIMIYA, the select shop launched by groovisions in Kyoto in July 2016, was open during the exhibition.

Dates: January 6th – 15th, 2017

Venue: Spiral Garden



開催概要

会期：2017年1月6日（金）～1月15日（日）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）

共催：有限会社ジー・アール・ヴィ、株式会社ワコールアートセンター

企画協力：スパイラル

写真：伊藤徹也



images of Beauty —さまざまな美しさのかたち—

「世の女性に美しくなって貰う事によって広く社会に寄与する事」を目標に掲げ、創業以来70年間、女性たちが美しく輝くお手伝いをしたいという願いを込めて事業を展開してきたワコール。

女性の美しくなりたいという思いに応えるため、ライフスタイルと同様に多様化する「美の価値観」を知り、来場者と共有することができる展覧会をスパイラルがプロデュースしました。

気鋭の女性写真家による作品の展示や、さまざまな分野で活躍する女性たちへのインタビュー映像、「あなたにとって女性の美しさとは？」の問いに対する来場者の回答で完成する、ツリー型のインスタレーションなどを通じ、「美しさ」の多様性を来場者に投げかけました。

気鋭のデザインオフィスWALTZ. が手がけた会場もご注目を集めました。

Images of Beauty

Aspiring to contribute to society by advancing female beauty, ever since it was founded 70 years ago Wacoal has continued to offer a helping hand for women to shine. In order to respond to women's desires to become more beautiful, Spiral produced an exhibition presenting ways for visitors to experience and share diverse values of beauty that can exist parallel with lifestyle. The exhibits of images taken by up-and-coming female photographers, video interviews with women active across a range of fields, and a tree-shaped installation that was completed by the responses of visitors to the question "What is female beauty for you?" all offered up an incredible variety of beauty. The venue layout created by design studio WALTZ. also attracted much attention.

Dates: December 2nd–11th, 2016

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2016年12月2日（金）～12月11日（日）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）

主催：株式会社ワコール

企画協力：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

日時		講座名	講師・ゲスト
4月24日	日	POP UP CINEMA vol.1『グランド・ブダベスト・ホテル』	石川三千花(エッセイスト)
6月12日	日	第6回スクリーンに映画がかかるまで 〜つくる・かう・ひろめる仕事について学ぶ〜	スージュン(株式会社シンカ代表取締役)
11月20日	日	第8回スクリーンに映画がかかるまで 〜つくる・かう・ひろめる仕事について学ぶ〜	杉野希妃(女優、映画監督)
2月25日	土	第9回スクリーンに映画がかかるまで 〜つくる・かう・ひろめる仕事について学ぶ〜	矢田部吉彦(東京国際映画祭 作品選定ディレクター)
6月12日	日	我妻マリ×ヴィヴィアン佐藤 トークセッション「誤読のススメ」	我妻マリ(モデル、ファッション・コーディネーター)、 ヴィヴィアン佐藤(美術家、文筆家、非建築家、映画批評家、 ドラッグクイーン、プロモーター)
7月8日	金	いつも輝いている私でいるために	我妻マリ
8月23日	火	実践! 企画書講座(第1回)	守屋慎一郎(スパイラル チーフプランナー)
8月30日	火	実践! 企画書講座(第2回)	
9月21日	水	実践! 企画書講座(第3回)	
10月19日	水	実践! 企画書講座(第4回)	
11月22日	火	実践! 企画書講座(第5回)	
1月18日	水	実践! 企画書講座(第6回)	
9月25日	日	第7回スクリーンに映画がかかるまで 〜つくる・かう・ひろめる仕事について学ぶ〜	土肥悦子(こども映画教室代表)、 工藤雅子(株式会社チャイルド・フィルム代表取締役)
10月23日	日	表参道ケンチク散歩(第1回)	川勝真一(RADディレクター、建築リサーチャー)
11月23日	水・祝	表参道ケンチク散歩(第2回)	



スパイラルとワコールの共同企画 Spiral Schole

開館30周年を記念し、2015年4月にスタートした「Spiral Schole」では、スパイラルとワコールがこれまでに培ったノウハウとネットワークから選び抜いた、経験豊かなプロフェッショナルを講師として迎え、様々なニーズに合わせた講座を実施しています。

2016年度は協力企画を含め全28の講座が開講されました。

Spiral Schole

Launched in April 2015 to commemorate Spiral's 30th anniversary, Spiral Schole presents special lectures with guest speakers selected from the rich network that Spiral and Wacoal has cultivated over the three decades. In fiscal 2016 there were a total of 28 lectures, including partner projects, given by highly experienced professionals in response to a range of needs.

概要

主催：株式会社ワコールアートセンター
企画制作：スパイラル



スパイラル 芸能の宴 2016 『花方』～ 第二章「若松の宴」



2



3



4



スパイラルホールを「青山亭」と称し、作家の岩下尚史が“青山亭主人”となり、日本の芸能の目利きである主人の目になった若手継承者の芸を気軽に楽しめる公演として、2013年に序章、第一章を開催し大好評を博した「花方」の第二章を開催しました。

歌舞伎役者の片岡千之助と新ばし芸者の喜美弥、きみ鶴、寿々女による日本舞踊とトークセッションの双方向から、若き“花方”の神髄をご紹介します。

『花方』～第二章「若松の宴」演目

【振付・監修 尾上菊之丞】

① 第一部【舞踊】清元「玉屋」

立方：片岡千之助／浄瑠璃：清元一太夫、清元國恵太夫／

三味線：清元昂洋、清元美十郎

【トークセッション】出演：片岡千之助、清元昂洋、清元一太夫／

③ 進行：八嶋智人、主人：岩下尚史

② 第二部【舞踊】東をどり「東風流彩色見本」

立方：喜美弥、きみ鶴、寿々女／演奏：多賀子、照代、由良子

④ 【トークセッション】出演：喜美弥、きみ鶴、寿々女、多賀子、照代、

由良子／進行：八嶋智人、主人：岩下尚史

Spiral Performing Arts Feast 2016

Hanagata Chapter 2: Feast of Young Pine

Following the popular first event in 2013, this was the second showcase of traditional performing arts by young practitioners. Alongside performances of Bujo (Japanese traditional dance) and music, it featured the writer and critic Hisafumi Iwashita leading talks with the participants. Performers included the young Kabuki actor Sennosuke Kataoka.

Date: April 29th / 16:30

Venue: Spiral Hall

開催概要

日時：2016年4月29日（金・祝）16時30分開演

会場：スパイラルホール（スパイラル3F）

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画協力：シス・カンパニー

企画制作：スパイラル

写真：岡本隆史



SAL - Dance and Music Installation - By Ella Rothschild and Mirai Moriyama



2014年イスラエルでの世界初演を皮切りに、日本での公演も話題となった、森山未来とエラ・ホチルドによる『JUDAS, CHRIST WITH SOY ユダ、キリスト ウィズ ソイ〜太宰治「駈込み訴え」より〜』の再演に先駆け、スパイラルガーデンではジャンルの異なる5名のミュージシャンを招き、その日限りのダンスと音楽のコラボレーションを展開しました。

スパイラルガーデンを会場に、各公演日で音楽の演者が異なるという実験的な舞台でしたが変幻自在なムーブメントと音楽が大変好評を博しました。

演出／振付／出演：エラ・ホチルド

共同制作／出演：森山未来

音楽／演奏：12月27日(火) 青葉市子、阿部海太郎

28日(水) 堀つばさ、U-zhaan

29日(木) 青葉市子、吉井盛悟、U-zhaan

SAL Dance and Music Installation

Ella Rothschild and Mirai Moriyama

Ahead of the long-awaited revival of Ella Rothschild and Mirai Moriyama's Judas, Christ with Soy, which was adapted from a novella by Osamu Dazai and premiered in Israel in 2014 and then caused a stir when first performed in Japan, Spiral Garden hosted this special show featuring five musicians from different musical genre and styles alongside the dancers Rothschild and Moriyama. Each performance had an alternating lineup of music and performers, conjuring up an experimental, phantasmagoric combination of movement and music that enjoyed a strong receptio from audiences.

Dates: December 27th - 29th, 2016

Venue: Spiral Garden

開催概要

会期：2016年12月27日(火)～29日(木)

会場：スパイラルガーデン(スパイラル 1F)

主催：株式会社ワコールアートセンター

提携：横浜赤レンガ倉庫1号館[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

後援：イスラエル大使館

助成：Mifal HaPays

制作：スパイラル

写真：DRAWING AND MANUAL



Dance New Air 2016 ダンスの明日

ヴェルテダンス (チェコ)
VerTeDance, Jiří Havelka, Clarinet Factory
『CORRECTION』日本初演



向井山朋子 (オランダ／日本／イタリア) 『La Mode (ラ・モード)』日本初演



伊藤ギム／フィジカルシアターカンパニー GERO (日本)
『家族という名のゲーム』世界初演



KENTARO!!／東京 ELECTROCK STAIRS (日本)
『前と後ろと誰かとえん』世界初演



山田うん (日本)
『デイクテ』

2002年にスタートした「ダンスビエンナーレトーキョー」を引き継ぎ、2014年に誕生した「Dance New Air -ダンスの明日」第2回目となる今回は、スパイラルホールをメイン会場とし、新たに東京ウィメンズプラザを加えて、「音楽」「言葉」と強い結びつきのある6作品をラインアップし、連携企画として展覧会をスパイラルガーデンにて開催しました。

2009年から共催しているシアター・イメージフォーラムでのダンスフィルムの上映、青山ブックセンター本店でのブックフェア、展覧会会場でのダンスパフォーマンス、DDD AOYAMA CROSS THEATERでの海外プレゼンターに向けた日本人アーティストのショウケースなど、前回以上に多種多様なプログラムを展開しました。

Dance New Air 2016

Launched in 2002, Dance Biennale Tokyo evolved into Dance New Air in 2014. For this second edition, Spiral Hall served as the main venue alongside the new venue of Tokyo Women's Plaza to host a lineup of six dance works closely connected to music and language. In addition, a satellite exhibition was held at Spiral Garden. The 2016 festival featured an even more diverse program than previously, including dance film screenings at Theatre Image Forum, which has served as a partner institution since 2009, and a tie-in book fair at Aoyama Book Center Main Store, a dance performance exhibition at Spiral Garden, and a special showcase of Japanese artists' work at DDD Aoyama Cross Theater for overseas festival and theater producers.

Dates: October 1st - 10th, 2016

Venues: Spiral Hall, Tokyo Women's Plaza, Theatre Image Forum, Aoyama Book Center Main Store, Spiral Garden, DDD Aoyama Cross Theater, studio ARCHITANZ

開催概要

会期：2016年10月1日(土)～10月10日(月・祝)

会場：スパイラルホール、東京ウィメンズプラザ、シアター・イメージフォーラム、青山ブックセンター本店、スパイラルガーデン、DDD AOYAMA CROSS THEATER、スタジオアーキタンツ 他

主催：一般社団法人ダンス・ニッポン・アソシエイツ、スパイラル／株式会社ワコールアートセンター、Dance New Air 実行委員会

写真：bozzo



TOKYO ART FLOW 00



photo: Ooki Jingu

[c] Tokyo Art Flow 00 All Rights Reserved.

開催概要

会期：2016年7月29日（金）～7月31日（日）[3日間] 会場：二子玉川駅周辺（多摩川河川敷、玉川高島屋S・C、二子玉川ライズなど）
 主催：TOKYO ART FLOW 00 実行委員会（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、世田谷区、公益財団法人 世田谷区産業振興公社、玉川高島屋S・C、玉川町会、多摩美術大学、東京急行電鉄株式会社、東京都大学、ドッグウッドプラザ、二子玉川エリアマネジメント、楽天株式会社）
 アートプロデュース：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター
 協賛：株式会社NT Tドコモ、サントリーホールディングス株式会社、株式会社中山ケミカル、パロットジャパン、extremis、壁紙屋本舗・カベガミヤホンポ、カラーキネティクス・ジャパン株式会社、TSP 太陽株式会社、三菱地所ホーム株式会社、堀野香料株式会社、株式会社スタイルテック、株式会社トランジットジェネラルオフィス、NORDISK、株式会社ハートス、パナソニックシステムネットワークス株式会社、株式会社ビームス
 後援：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所、スイス大使館、ミズベリングプロジェクト事務局 特別協力：公益財団法人 日産厚生会 玉川病院、玉川高島屋S・C、二子玉川ライズ
 会場協力：GOLD 二子玉川店、株式会社ジャイアント、二子玉川 葛屋家電、YANAGIYA 助成：スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

TOKYO ART FLOWは、二子玉川を舞台に、世界水準の文化情報発信をめざし、継続的に発展させるアートフェスティバルです。

2016年はフェスティバルを立ち上げるにあたっての、実験という意味も含め第0回として実施し、第1回（2017年）まで見据えたプロジェクトのはじまりとして開催しました。

夏休み期間の3日間、駅周辺のショッピング施設から、二子玉川最大の自然資源である河川敷にいたる地帯で多彩なアーティスト、クリエイターによる様々なプログラムを同時実施、スパイラルは本アートフェスティバルのアートプロデュースを手がけました。

フェスティバルタイトルの“flow”には、流れる、満たされる、あふれる、巡るなどの意味があります。二子玉川には誰もが知る最大の自然資源である多摩川があり、本企画はその河川敷の公共的な活用が主目的としてあります。そして、そこを舞台に、言葉、思考を交わし合うこと、美しく楽しいものに触れること、展示作品のみならず食や音楽も含め、既成枠を超えて広く定義する「アート」を紹介します。

● 参加アーティスト

&H.inc. with ZNEM、石黒猛、石花会、宇川直宏、h.o、御徒町風、落合陽一、oblaat、清田益章、坂本美雨 with CANTUS、さとうゆうじ、ゆき、佐内正史、SUPPOSE DESIGN OFFICE 谷尻誠+吉田愛、紫牟田伸子、邪悪なハンコ屋 しにものぐい、高橋匡太、谷川俊太郎、田淵正敏、東京フィルハーモニー交響楽団、目、ひびのこづえ、快快（FAIFAI）、山中俊治、ラング&パウマン、和田 永、WALTZ.（五十音順）

Tokyo Art Flow 00

Tokyo Art Flow is an international art festival set to unfold over the next years in the Futako-Tamagawa area. Launched in 2016, Spiral produced the debut edition as a trial event intended to kick off the project ahead of the first full festival in 2017. Over three days during the summer holidays, a wide-ranging program and lineup of artists and designers came together in the retail district around Futako-Tamagawa Station and the Tama River, which forms the largest natural resource in the area.

Dates: July 29th – 31th, 2016

Venue: Around Futako-Tamagawa Station (Tama River, Tamagawa Takashimaya SC, Futako-Tamagawa Rise, and more)

Part of the official Tokyo 2020 Cultural Olympiad



Gallery AaMo 開業パートナーシップ

Gallery AaMo (ギャラリーアーモ) は、堅苦しい芸術ではなく、楽しさとライブ感に満ちた、大人のための遊べるギャラリーとして2017年4月に開業します。

「and More」をキーワードに、最先端のメディアアートから工芸やサブカルチャーまで、

様々なジャンルを横断する欲張りな文化の発信拠点です。

AaMoの「A」は「Art」「Amusement」の略、そして「aMo」は「and More」の意。

新しい価値が創造され展開されるギャラリーであり、東京の新名所として認知されていく、という意味がこめられています。

スパイラルは、開業パートナーシップとして、ブランディング、施設・コンテンツ開発、実施計画策定支援、ネーミング開発支援、ロゴデザイン開発およびロゴ使用マニュアル制作を支援しました。

Gallery AaMo

New facility branding and content development

Spiral handled branding consultation as well as directing content development for the April 2017 launch of Gallery AaMo, a multi-purpose space offering fun experiences for grown-ups, in Tokyo Dome City. Services included the facility naming, logo design, logo manual, and direction for the facade design.

名称：Gallery AaMo

住所：東京都文京区後楽1丁目3番61号

東京ドームシティクリスタルアベニュー 沿い

開業年月日：2017年4月15日

面積：830㎡

天井高：5.0m





太田市美術館・図書館

群馬県太田市は中島飛行機の発祥の地であり、富士重工業株式会社が製造拠点を置く工業都市です。同市では、活発な工業経済が存在する一方で、中心市街地の衰退が課題となっており、「太田市美術館・図書館」は、中心市街地の活性化を目的に計画されました。

スパイラルでは、建築家・平田晃久氏によるユニークな建築プランを生かしつつ、それを効果的に活用する管理運営計画の策定を行っています。

中心市街地に賑わいを取り戻すことを主目的としつつ、美術館と図書館が融合する複合文化施設としての特徴を生かし、館内で、まちなかで、多彩な多彩な文化事業を展開することを予定しています。

Ota City Art Museum & Library

Ota City in Gunma Prefecture is an industrial city, being both the birthplace of Nakajima Aircraft and home to the headquarters of Fuji Heavy Industries. While its industry continues to boom, the city center has gone into decline. As part of a scheme to revitalize the area, a new culture complex has been proposed.

Spiral is developing a management plan for the venue that makes effective use of the unique architectural plans by Akihisa Hirata. With its chief goal being to restore vitality back to the center of the city, the site unusually combines library and art museum facilities.

開館：2017年4月

所在地：群馬県太田市東本町16番地30

運営主体：群馬県太田市

協力：NPO法人オブセリズム



東京2020 公認文化オリンピック SLOW MOVEMENT Next Stage ショーケース&フォーラム



2020 年に向け注目を集める障害者の舞台芸術分野。

象の鼻テラスの活動から派生した SLOW LABEL (スローレーベル) は、障害者と企業や職人、アーティストが対等の立場でクリエイティブなものづくりに取り組むプロジェクトです。

スローレーベルの活動はファクトリー、パトリエンナーレへと続き、その延長として、年齢や性別、国籍、障害の有無などを越えて、街中で市民参加型パフォーマンスを実施する「スロームーブメント」へ発展。障害者パフォーマーを支える人材の育成など、環境の整備も行なってきました。

今回「SLOW MOVEMENT Next Stage ショーケース&フォーラム」では、「スロームーブメント」のこれまでの活動を踏まえ、新たな活動を提示しました。ショーケースでは、多様な体が織り成す現代サーカス「Wonder of View」と聾のダンサー出演作品「聞こえなくても、聞こえても『ダンス劇』」の2作品を少数精鋭のパフォーマーによって上演。フォーラムでは、栗栖良依 (SLOW LABEL ディレクター)、柴田翔平 (Stopgap Dance Company プロデューサー)、菅野薫 (株式会社電通 CDC / Dentsu Lab Tokyo グループ・クリエイティブ・ディレクター／クリエイティブ・テクノロジスト)、鈴木京子 (国際障害者交流センター ビッグ・アイ 事業プロデューサー) が登壇し、2020 年に向けて障害者の舞台芸術について講演しました。

SLOW MOVEMENT Next Stage Showcase and Forum

SLOW LABEL is a creative initiative that developed out of the activities of Zou-no-Hana Terrace, bringing together people with disabilities, the private sector, artisans and artists to make crafts and products. One of its projects is the performance series SLOW MOVEMENT. This event presented new activities for the project while drawing on its previous endeavors. The showcase featured two dance pieces performed by a small number of dancers: Wonder of Viewer, a contemporary circus show brought to life by different kinds of bodies, and Even if you cannot hear, even if you can: Dance Theater, which was performed by deaf dancers. The forum welcomed Yoshie Kris (Director, SLOW LABEL), who discussed performing arts for the disabled while looking ahead to 2020, when the Paralympics Games will be held in Tokyo.

Date: February 12th, 2017

Venue: Spiral Hall

開催概要

開催日：2017 年 2 月 12 日 (日)

会場：スパイラルホール (スパイラル 3F)

観覧料：無料

主催：スロームーブメント実行委員会

共催：港区〈平成 28 年度港区文化プログラム連携事業〉

助成：アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力：国際障害者交流センター ビッグ・アイ

写真：川瀬一絵



スマートイルミネーション横浜2016

「スマートイルミネーション横浜」は、長年にわたって優れた都市景観の形成に取り組んできた横浜都心臨海部を舞台に、環境技術とアートを融合し新たな夜景の創造を試みるアートイベントです。

6回目となる2016年は、フランスのバルバラ・キャデ、中国・上海のルー・ヤン、2組の海外アーティストが参加し、日本初登場となるオリジナル作品の制作・展示を行いました。国内からは初回から参加している高橋匡太をはじめ、全17組のアーティストによるイメージーション豊かな作品が横浜の夜を彩りました。

また、若手クリエイターや学生がアイデアを競いあう「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2016」を開催、先進的な環境技術を有する企業とアーティストのコラボレーション、緑区、泉区などの横浜市内の複数エリアでの展開など、多岐に渡るプログラムを実施しました。

Smart Illumination Yokohama 2016

Smart Illumination Yokohama is a fusion of art and environmental technology that creates new night spectacles for the Yokohama central marine area, which has long formed a superb part of the scenery of the city. For the sixth iteration in 2016, two artists from overseas—Barbara Cadet from France and Lu Yang from Shanghai, China—made original artworks to be shown in Japan for the first time. Japanese participants included Kyota Takahashi, who has appeared in the event each year since it launched. A total of 16 artists helped transform Yokohama at night into a rich spectacle of illuminations. The wide-ranging program of events also featured the FutureCity Yokohama Smart Illumination Award 2016, which brought together ideas from students and other young creative talent, as well as collaborations between the private sector and artists that shared advanced environmental technology, and also illuminations at other areas around Yokohama.

Dates: November 2nd – 6th, 2016

Venues: Zou-no-Hana Park, Yokohama Port Opening Memorial Hall, and more

開催概要

会 期：11月2日(水)～11月6日(日)5日間

会 場：象の鼻パーク、横浜市開港記念会館 ほか

主 催：スマートイルミネーション横浜実行委員会

共 催：横浜市

特別協賛：株式会社 FREEing、富士ゼロックスアドバンスドテクノロジー株式会社

協 賛：エリーパワー株式会社、株式会社 中川ケミカル、株式会社 ZE エナジー / 株式会社 アースプラス、

協 力：株式会社 黒澤フィルムスタジオ

後 援：アンスティチュ・フランセ横浜

写真：森 日出夫



森のサーカス

横浜市緑区の全国都市緑化よこはまフェアのPRイベント「新たな森の楽しみづくり」事業において、『森のサーカス』と題したサーカス公演およびワークショップを行いました。

舞台美術に、フランス人アーティストのバルバラ・キャデを起用、サーカス公演には、一般社団法人 瀬戸内サーカスファクトリーのコーディネートのもと、3名のパフォーマーと1名の音楽家が出演。

緑の深い森に、色鮮やかな動物のマスクを被ったパフォーマーが太木に吊したティッシュを用いたエアリアルなど、華麗な演技を披露し、幻想的なひと時を創り出しました。

Cirque dans la forêt

This circus performance and workshop was organized as part of an initiative in Yokohama to encourage use of the city's woodland areas. The set design was made by the French artist Barbara Cadet and the circus show was organized in coordination with Setouchi Circus Factory, featuring three performers and one musician. The wooded setting became the stage for an enchanting story about creatures that live deep in the forest, brought to magical life by performers wearing vibrant animal masks and hanging from the trees.

Dates

Workshop: November 26th, 2016 / 13:00-16:00

Circus: November 27th, 2016 / 13:00, 15:00

Venues

Workshop: GP Hall, Care Plaza, Kamoihara, Yokohama

Circus: Kamoihara Forest (North Area)

開催概要

開催日時：

ワークショップ：2016年11月26日（土）13:00～16:00

サーカス：2016年11月27日（日）13:00～、
15:00～（2回公演）

会場：

ワークショップ：横浜市鶴居地域ケアプラザ

サーカス：鶴居市民の森 北地区

主催：横浜市緑区役所

企画制作：スパイラル／株式会社ワコールアートセンター、
一般社団法人 瀬戸内サーカスファクトリー

協力：鶴居市民の森愛護会、横浜市鶴居地域ケアプラザ、
横浜市立緑小学校、株式会社黒澤フィルムスタジオ

後援：アンスティチュ・フランス横浜

写真：池田美都、伊東祥之



Art Wall

MINA-TOのArt Wallでは、今、スパイラルがお勧めする旬なアーティストの作品を展示販売します。

04.11 ~ 04.24 Art Wall Vol.2

山口藍

04.25 ~ 05.24 Art Wall Vol.3

GABOMI.、クラーク志織、

佐野景子、phenomena collection

05.25 ~ 06.12 Art Wall Vol.4

はいいろオオカミ+花屋 西別府商店、原菜央、
高崎紗弥香、池田美都

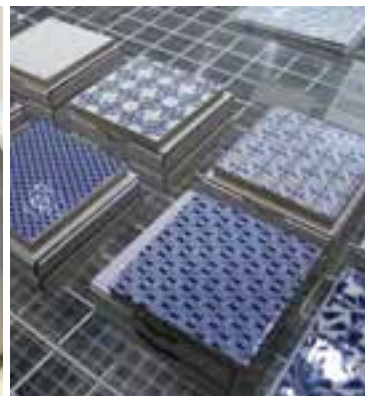
07.08 ~ 07.28 Art Wall Vol.5 石本藤雄

MINA-TO

Launched in April 2016, MINA-TO's art wall space exhibits the work of artists recommended by Spiral. The seasonal exhibits are available for purchase.



MINA-TO



WONDERS

vol.1 Paper, Ceramic, Lacquer

01.16 ~ 02.05

日本で古くから受け継がれている技法を現代のクリエイティビティに変換している気鋭の作家の作品を展示販売しました。

● 出展作家

小野川直樹 / guse ars / 樋口明宏 / 染谷 聡

This is Dummy. Lorem Ipsum is simply dummy text of the printing and typesetting industry. Lorem Ipsum has been the industry's standard dummy text ever since the 1500s, when an.



ミナ ペルホネン生地張りアルテック ドムス チェア 限定販売

10.07 ~ 10.16

名作椅子「ドムス チェア」の70周年を記念した展覧会“the chair ≠ a chair”の開催に連動し、ミナ ペルホネンの生地を纏ったスペシャルなドムス チェアを販売しました。

Special edition of Domus Chair with Mina Perhonen fabric was made available during the exhibition “the chair ≠ a chair”, celebrating the 70th anniversary of the world renown chair.



永田哲也展

12.26 ~ 2017.1.15

和菓子を作る際に実際に使用されていた型に和紙を張り込んで造形されるアーティスト・永田哲也の代表作「KIOKUGAMI 和菓紙三昧」シリーズを数多く取り揃えました。

“KIOKUGAMI wagashi zammai” series, created by artist Tetsuya Nagata, were made available. The art pieces are made of traditional Japanese paper and by using the molds for wagashi, or Japanese confectionary.



クラーク志織 × MINA-TO コラボレーションアイテム

発売日：2016年4月29日

多岐にわたる活動で注目を集めるイラストレーターのクラーク志織。おめでたい柄として、日本で伝統的に用いられる“松竹梅”と“鶴”のモチーフを、クラーク志織ならではのキュートでポップなイラストで表現したランチョンマットとコースターを販売しました。

Place mats and coasters were created by illustrator Shiori Clark. Japanese traditional celebratory motifs, “pine, bamboo and cherry” and “crane”, were illustrated on the products.



YUKI FUJISAWA × MINA-TO ORIGINAL DIARY 2017

テキスタイルレーベル「YUKI FUJISAWA」の象徴的なグラデーション・質感・箔押しを贅沢に表紙やカバーに落とし込んだ、特別なダイアリーを販売。好評を博しました。

サイズ：A5サイズ マンスリー
価格：2,300円＋税
カラー：全5種
製作協力：LACONIC®

Special diary by textile label “YUKI FUJISAWA” was made available. The label's signature gradation, texture and foil stamping were used in creating the diary.



call 新店舗オープン

ものとの心躍る出会いをつくる場所。

広々としたテラスから光の差す回廊式のショップに、世界中から呼び集められたものたちが並びます。古いものも新しいものも、技の確かなつくり手の思いがあふれ、丁寧に生み出されたものばかりです。ミナ ペルホネンの子ども服やインテリアファブリックも揃えました。ショップ内のカフェ「家と庭」は、「家族を想ってつくる料理」がコンセプト。コーヒーやお茶、お酒とともに心地よい時間をお過ごしいただけます。

call

A place for exciting encounters.

Featuring an expansive terrace with generous natural lighting, this cloister-shaped shop brings together a unique range of items from around the world. From the old to the new, these items are fused with an expertly crafted texture. There are also children's clothing by minä perhonen and interior fabrics. An in-store cafe serves family-style cooking. Enjoy coffee, tea, and alcoholic beverages in these pleasant surroundings.

Opening Hours

11:00 - 20:00 (Last orders in cafe: 19:30)

Open every day

Tel: 03-6825-3733

<http://www.mp-call.jp/>

オープン日：2016年7月15日(金)

場所：スパイラル5F

営業時間：11:00 ~ 20:00 (カフェ「家と庭」L.O. 19:30) 無休
03-6825-3733

<http://www.mp-call.jp/>

Call



櫻井焙茶研究所 新店舗オープン

芳ばしい焙煎の香り漂う日本茶専門店。

日本茶の価値観を広げて進化させ、新しい愉しみを提案する
櫻井焙茶研究所。

「ロースト」と「ブレンド」を基とし、各地より厳選した日本茶をはじめ、店内でローストした焙じ茶や、国産の自然素材を組み合わせた四季折々のブレンド茶を販売しています。

併設の茶房では、玉露や炒りたての焙じ茶はもちろんのこと、
櫻井焙茶研究所ならではの茶酒を和菓子や食事とともにお愉
しみいただけます。

Sakurai Japanese Tea Experience

A specialist Japanese tea store serving finely roasted, fragrant teas.

Sakurai Japanese Tea Experience offers new and better ways to enjoy Japanese tea. Carefully selecting Japanese tea from various regions around the country based on strict criteria of roasting and blending, hojicha tea is roasted in-store while other teas are blended with natural, seasonal Japanese ingredients.

At the teahouse attached to the store, enjoy gyokuro and freshly roasted hojicha as well as original tea and alcoholic beverages with traditional confectionary and meals.

Opening Hours

11:00-20:00

Open every day

Teahouse on weekdays: 11:00 - 23:00

Tel: 03-6451-1539

<http://www.sakurai-tea.jp/>

オープン日：2016年7月15日（金）

場所：スパイラル5F

営業時間：11:00～20:00

（茶房のみ平日11:00～23:00）無休

03-6451-1539

<http://www.sakurai-tea.jp/>



櫻井焙茶研究所
SAKURAI JAPANESE TEA EXPERIENCE

スパイラルレコーズは、クラシック、ジャズ、ワールドなど、多様な音楽のエレメントを融合させたスタティックで先鋭的な世界を提示し、そのスタイルに共鳴するアーティストと共に既存のジャンルやカテゴリーの枠組みを超えたオリジナリティー溢れるサウンドをアートワークも含めたトータルな作品としてリリースしています。



音との戯れ、しなやかな「身ぶり」が呼びだす^{パラペル}寓話の世界。

「21世紀のクルビ・ダ・エスキーナ」と称される、現代ブラジルの尖鋭的なアーティストが集う音楽サークルの中心人物、ジョアナ・ケイロス、ハファエル・マルチニ、ベルナルド・ハモスからなるスーパートリオによる、あらたなチェンバー・ポップ・サウンドの結晶。

The crystallization of new chamber pop sound by the superb trio, Joana Queiroz, Rafael Martini, Bernardo Ramos - who are the representatives of the music circle called "twenty-first century Clube da Esquina", where cutting-edge artists of the contemporary Brazilian scenes come together.

発売日：2016年8月3日

品番：SPIRA-1110

JAN：4988225100537

形態：CD / 全10曲収録

定価：¥2,870 + 税

Joana Queiroz, Rafael Martini, Bernardo Ramos
GESTO



林 正樹

Lull

日本屈指のジャズピアニストとして、渡辺貞夫、菊地成孔、椎名林檎など、多岐にわたるジャンルの重要人物から寵愛を受ける林正樹が、コンポーザーとしてもより高い評価を得た《Pendulum》(2015)を経て、満を持して取り組んだ、オリジナル楽曲のみで構成されたソロピアノ・アルバム《Lull》。

音の潜在的可能性、内密性、イメージを豊かに変成させる物質的想像力、恣意を排した透明な精神をもって、クラシック、ジャズ、ワールド、アンビエントなどのエレメントが未分化に揺籃する、過去にあらわれることのなかった、未生の音楽の可能性へと遡行する——。

コンサートホールにて、現時点での最高音質のフォーマットであるDSD 11.2MHz/1bitによりマルチ・レコーディング。カバーには、彫刻家若林奮の長女で、早世の画家、若林砂絵子の作品を使用。

Lull

Masaki Hayashi

Following Pendulum (2015), which also enjoyed popularity in concert, the leading Japanese jazz pianist Masaki Hayashi's new album Lull comprises entirely original tracks for solo piano. In this album, Hayashi, who is a favorite pianist of the likes of Sadao Watanabe, Naruyoshi Kikuchi and Ringo Sheena, draws on a physical vision that richly transforms sound's latent potential, confidentiality and images, and a lucid spirit that has rejected the arbitrary. He explores upstream toward the unborn possibilities of music that have never appeared before, in which elements of classical, jazz, world and ambient music are cradled without differentiating them. Hayashi employed multitracking on DSD 11.2MHz/1bit, which is currently the format with the highest level of sound quality. The album cover features the artwork of Saeko Wakabayashi, the painter and oldest daughter of the sculptor Isamu Wakabayashi.

発売日：2016年11月02日
品番：SPIRA-1111
JAN：4988225100544
形態：CD / 全9曲収録
定価：¥2,870＋税

